

小学校 第5学年 総合的な学習の時間指導案

平成27年11月19日（木）

5年生

外部講師 津野町森林組合

指導者

1 単元名 「わたしたちの地域に残る昔文化を調べよう」

2 単元観・キャリア観

本単元は、キャリア教育の一環として、伝統文化についての体験活動や調べ学習を行う。児童の主体的な活動を通して、自分自身を振り返り、仲間との体験や人との出会いを大切にし、思いを共有することで、キャリア教育でつきたい基礎的・汎用的能力に迫っていきたい。

門松製作体験活動や、地域の先輩との出会いをきっかけに、地域の伝統文化に着目させる。指導にあたっては、門松の由来を知り、地域の伝統文化がどのように生まれ、どのような思いで引き継がれてきたのかについて、調べたり考えたりする活動を取り入れるとともに、現在・未来の自分の生活とのかかわりについて考えさせる。そして、自らも地域のために役立ちたいという思いや、地域や地域の人を好きになる郷土愛のある児童を育てていきたい。また、児童が主体的に調べたり、体験したりした伝統・文化について、自分の考えを整理し、それを自らの言葉で表現するなどの伝え合う活動を設定していく。

本学年の児童は、社会の変化にともない、核家族で生活している家庭がほとんどである。そのため、家庭の中で昔からの文化を自然に伝承される機会が少なくなっている。また、道徳アンケートによると「今住んでいる地域の行事やボランティア活動に参加している」という質問に対して、「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」と答えた児童は全体の約半数にとどまっており、地域への関心・興味が薄いのが現状である。

3 単元の指導目標

○ 単元の指導目標

- ・主体的な活動を通して、「文化」や「地域」に対する理解を深め、そこで生活する人々の思いを知る。
- ・地域の一員として、仲間と協力し門松製作体験を行うことができる。

○ キャリア教育視点での目標

- ・「門松の製作」を通して自らの学びや生活を振り返り、自己発見（自己課題、自己肯定感）ができる。
【自己理解・自己管理能力】
- ・調べ学習や体験学習を通して、他者に思いや考えを伝える力（言語活動）、他者とつながるためのスキル（コミュニケーション力）を身につける。
【人間関係形成・社会形成能力】

4 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
・地域に残る昔文化について関心をもち、進んで調べたり、門松作り体験に積極的に取り組んだりしている。 ・昔文化調べや門松づくりを通して、地域の一員であることを自覚し、行動しようとしている。	・地域の文化について聞いたたり調べたりして、門松づくりの手順をイメージしている。 ・調べ学習や製作過程を通して、仲間のよさや頑張りをふり返り、表現しようとしている。 ・地域の昔文化調べや門松製作で体験したことと自分の生活経験を関連付けて感想を書こうとしている。	・役割分担をしてわかったことをまとめる活動や、作品づくりに取り組んでいる。 ・地域の一員として、手紙を書いたり挨拶をしたりしようとしている。	・地域の先人の話を通して、地域に残る昔文化や門松づくりの歴史・それに込められた願いを知ろうとしている。

5 指導と評価の計画（全7時間）

時数		主な教育活動	評価規準			
			関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
一次	1	・自分達の住む地域に昔から残る文化について調べる。 ・家庭や地域の人から聞き取ってきたことを交流する。	・自分達の住む地域の昔文化について関心を持ち、自分達調べようとしている。 （行動観察）			
二次	2 3 （本時）	・興味のある地域の文化について調べる。 ・調べた事を交流する。		・図書室の本やインターネットで調べ、地域の昔文化のイメージをしている。 ・交流活動を通して、仲間のよさや頑張りをふり返り、表現しようとしている。（発表・ワークシート）	・役割分担をして作品づくりに取り組んでいる。 （行動観察）	
三次	4	・実際に地域を巡り、地域の文化についての説明を聞く。	・地域巡りを通して、地域の一員であることを自			・地域巡りや地域の先人の話を通して地域に残る

	5 ～ 6	・地域巡りをして分かったことをまとめる。 ・まとめたことを全体で共有する。	覚し、行動しようとしている。 (行動観察)			昔文化やそれに込められた思いを知ろうとしている。
四次	7 ～ 8	・昔からの伝統文化である門松制作を体験する。 ・制作した門松にメッセージカードを添え、地域の施設に届けに行く。		・門松製作で体験したことと自分の生活経験を関連付けて感想を書こうとしている。 (ワークシート)	・地域の一員として、手紙を書いたり挨拶をしたりしようとしている。 (メッセージカード)	
五次	9	・地域に残る文化調べや、門松制作体験を通しての学びや感想を共有する。				

6 本時の指導（2～4／7）

（1）目標・評価規準・評価方法

本時の目標	・地域の一員として、仲間と協力し門松製作体験を行うことができる。 ・門松製作体験活動を通して自らの学びや生活を振り返り、自己発見（自己課題、自己肯定感）ができる。【自己理解・自己管理能力】
本時の評価規準	・製作過程を通して、仲間のよさや頑張りをふり返り、表現しようとしている。 ・地域の先人の話を通して、門松づくりの歴史やそれに込められた願いを知ろうとしている。
評価方法	行動観察、聞き取りメモ、ワークシート

（2）展開

	学習活動	指導上の留意点 ○…教科の留意事項 ☆…キャリア教育視点での留意事項	評価規準 (評価方法)
導入	1 本時のねらい、活動内容を知る。 門松を制作しよう～地域の先輩に習いながら～		

展 開	2 グループに分かれ、製作の手順や注意点を聞く。	○手順や安全な作業の仕方についてポイントをおさえて聞くことができるように、事前指導をしておく。	・話す人の方を向いて、きちんとした話の聞き方が出来ている。 (行動観察)
	3 グループに分かれて、門松を製作する。	☆分からない所は、自分から進んで質問させる。その際に、言葉遣いやポイントをおさえた尋ね方を意識させる。 ☆一人一人が役割を意識して製作活動が行えるように声がけをする。	・敬語を使ったり、ポイントをおさえた質問が出来ている。 (行動観察) ・グループで協力し合って製作活動に取り組んでいる。(行動観察)
ま と め	4 できた作品を評価する。	☆作品づくりの苦労や工夫したところを、聞き手を意識して発表させ、児童間で相互評価させる。	
	5 先輩方からの評価を聞く。		
	6 まとめ	○活動を通して、地域の伝統文化について考えたことを発表させる。	・門松製作体験や地域の先輩方との交流を通して、地域やその文化への思いをもつことができる。 (発言、感想文)
	7 授業の感想を書く。	☆活動したことと、自分の生活体験とを関連させて記入させる。	